

雄氏夫人ミチ子さん等、御縁のある方々も会を盛り上げて下さった。

2日の前夜祭は宿泊のメルパルクホテルで行った。45期美作会長の歓迎の辞に次いで「梓弓の歌」同じ通ふむ梓弓・矢猛心の武夫は、引き訣れても手にまける。友のおとずれ絶えずせよ・を合唱。43期梅木さんの音頭で乾杯し宴に入った。そして適宜、各会員に熊幼会の在り方について意見を開陳して貰い、又同期のテーブルでは昨今の生き方など有意義な一夜であった。

翌3日は8時に出迎えのバス2台でホテルを出て第8師団司令部に到着。師団長が御出張のため駐屯地司令に挨拶し、雄健神社（現奉斎殿）へ移動。慰霊祭が厳かな喇叭吹奏で黙祷し、続いて各人が白菊を献花した。終わって神社前で全員の写真撮影した。

次いで3年前の熊本地震で被災した防衛館に代わって昨年新築された北熊館を見学。先づ総務課長から第8師団の機動師団化改編の説明を受けた。我が国の安全保障環境は自衛隊創隊以来最も厳しい。特に南西諸島の地政学的価値は著しく高まって居り、29年度末に改編し、水陸機動団も新編された。更に奄美大島・宮古島・石垣島にも警備隊を配備し鎮西機動師団としての重責を果たすとの力強いお話であった。

隣の充実された熊幼コーナーでは熱心

つどい

熊幼会 令和総会を実施

熊幼47期 熊幼会理事 山口圭一
偕行5月号に予告していた熊幼会は10月2・3日に令和総会として実施した。
会員31名、総勢50名超の盛会となった。
会員の最若手が米寿に達する中で御家族の支援が大きかったと思われる。

又熊幼45期田中正和さん、故中村前会長御息女寺岡節さん、故前理事長本田睦

に見入って1時間では全体を見切れず残念であった。昼食は隊員食堂で頂いたが老軀には充分過ぎる量であった。

午後は再び北熊館に移り、400席の大講堂で第8音楽隊が熊幼令和総会の記念演奏会を行って下さった。熊幼旧校歌に始まり。歩兵の本領・尽忠菊池の歌・自衛隊隊歌・攻撃・・・熊幼新校歌で終る体内で熱血が湧く感じの30分間であった。終つて美作会長から謝意が贈られ、音楽隊退席後に総会の締めを行った。熊幼の遺跡が北熊本駐屯地内に在り大切に保存されて居る有難さが身に沁みた令和大会であった。又危惧された台風18号が逸れたのも幸いであった。

参加者一同、第8師団関係者の万全の御配慮に深謝し、準備して頂いたバスで熊本空港と交通センター・熊本駅から帰途に就いた。

尚熊本日日新聞は5日のニュースや話題の提供欄に「旧陸軍幼年学校 懐かし
い北熊本駐屯地の資料館」と写真入りで報じた。